



瑞浪市青少年育成市民会議だより

第18号

# 笑顔あふれるみずなみ

『みとめて ほめて はげまして』 みんなの力で健やかに

(発行) 瑞浪市青少年育成市民会議 (編集) 瑞浪市青少年育成市民会議広報部 TEL68-5281 (総合文化センター内)

## 青少年育成に貢献された方に 感謝状を贈呈

令和3年度第2回瑞浪市青少年育成市民会議総会を、2月13日(日)に瑞浪市総合文化センターにて開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の再拡大が心配される状況となったため、令和2年度に引き続いて書面にて開催することにしました。

例年、総会の場で青少年育成関係組織から推薦され、被顕彰者選考委員会において選考された青少年育成に貢献された方々に表彰状・感謝状をお渡ししていましたが、令和3年度はその機会がなくなってしまいました。そこで、3月1日(火)に感染防止をしながら、瑞浪市保健センター3階大会議室にて参加人数を絞って表彰式のみを行いました。



以下の方々が、瑞浪市青少年育成市民会議会長の水野光二市長より感謝状を受け取られました。

(敬称略、順不同)

※長年…10年以上、多年…10年未満

氏名(町名)	青少年育成にかかわる貢献内容の概要
安田善一朗(土岐町)	土岐町の青少年育成推進員・瑞浪市青少年育成理事代表として長年活動
加藤 博之(陶町)	瑞浪市青少年育成推進員・岐阜県青少年育成推進指導員として多年活動
重田 博之(陶町)	陶町の青少年育成推進員・瑞浪市青少年育成理事副代表として長年活動
鈴木かおり(土岐町)	土岐町の青少年育成推進員・瑞浪市青少年育成推進員として多年活動
稲垣登代子(釜戸町)	東濃西部少年センター瑞浪副地区長として青少年への声かけを多年推進
伊藤 恵一(陶町)	旧陶中学校ソフトテニスクラブ、瑞浪南ジュニアクラブ指導者として長年活動
仲野 利彦(陶町)	旧陶中学校・瑞浪南中学校ソフトテニスクラブ指導者として長年活動
野々村健二(陶町)	陶小学校の教育活動支援として新聞資料を長年提供
石王 明(土岐町)	児童・生徒の登校の見守り・声かけを毎朝多年継続

# 「子ども・若者育成支援強調月間」 啓発活動

今年度はコロナウイルスの感染防止の観点から、市内の文化祭が中止・縮小開催となったため、10月～11月にかけて、市内3会場のみで「子ども・若者育成支援強調月間」の啓発活動を行いました。

「青少年の健やかな育成に対する市民の理解を深めるとともに、各種活動への積極的な参加と日常的な行動を促し、次代を担う子ども・若者の育成支援の一層の充実と定着を図る」ことを目的に、中央公民館文化祭並びに各地区文化祭の折に、啓発活動リーフレット・ポケットティッシュ・マスクの配布活動を通して取り組みました。

中央公民館文化祭では、瑞浪市青少年育成市民会議会長の水野光二市長・山田幸男教育長と市民会議理事の皆さんと共に、瑞浪高等学校・麗澤瑞浪高等学校・中京高等学校のMSリーダーズの皆さんが活動をしていただきました。



## 家庭のルールを親子で話し合っていますか



コロナ禍により人同士の接触の機会が減り、青少年間における直接的ないじめは減少したと言われています。一方で、インターネット上の青少年のトラブルや被害、誹謗中傷は増加しているとの報告もあります。また、青少年のスマホやゲーム機の利用に関する保護者の心配も年々増しているように感じられます。

民法の改正により令和4年4月1日から成人年齢が18歳に引き下げられます。当日の時点で18歳19歳の人には成人となるため、親の同意なく様々な契約をすることができるようになります。まだ、経済的に自立していない場合でも、契約を結ぶことができるようになるため、新成人の契約上のトラブルが心配されています。当然、スマホやインターネットにかかわるトラブルの増加も心配されています。

瑞浪市PTA連合会と瑞浪市青少年育成市民会議が共催して、7～9月にWEB配信をした岐阜県警察本部生活安全部少年課の田中聡氏による教育講演会『スマホ・ゲーム機等の危険性』の中でも、「子どもがネット機器を使い始めた時の対応が大切」「成長に合わせて話し合っってルールを変えていく」ことが、子どもをネットトラブルから守る「親の責任」との話がありました。(市民会議だより第17号に掲載)

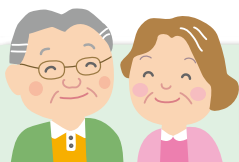
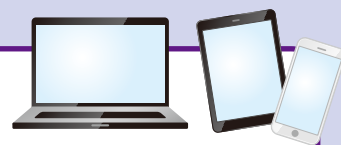
瑞浪市青少年育成市民会議並びに瑞浪市PTA連合会では、平成26年「ケータイ・インターネット問題合同会議」を行い、『瑞浪市ケータイ・ゲーム機・ネットに関する家庭のルール』を作成しました。現在の内容については、瑞浪市のホームページの「子育て・教育」から「青少年育成」に入って、「ケータイ・ゲーム機・インターネットの利用について」で確認することができます。

ぜひ、青少年の健全な育成を願って、家庭での段階的なルール作りを考えてみてください。

小中高校生の保護者の皆さんや青少年の育成にかかわってみえる方は、瑞浪市のホームページを一度確認してみてくださいと幸いです。

**ケータイ・ネットの問題は契約者である親の責任です。**

- ・わが子をネットの有害環境から守りましょう。
- ・家庭でのルールづくりが大切です。
- ・成長に合わせてルールを見直し、わが子との会話を大切にしましょう。
- ・わが子の生活習慣を整え、学習に集中できる環境をつくりましょう。



## 「地域のおじさん・おばさん運動」に多数登録

「地域のおじさん・おばさん運動」をご存じでしょうか。

これは、青少年育成国民運動の活動の1つです。青少年は社会のかけがえのない一員であり、未来をつくり支える宝です。その青少年が社会の担い手にふさわしい人間として育つように援助する活動です。

岐阜県青少年育成県民会議では、青少年問題は大人社会の反映であるという認識のもと、大人自らが模範を示し、地域における人と人とのつながり・大人と子どもとのつながりを通して、地域社会に交わることの温かさを再認識しようと、地域ボランティア、地域団体等との協働により活動をしています。

瑞浪市青少年育成市民会議でも、県が掲げる“青少年 地域で守ろう 育てよう”を大切にして、大人が子どもたち一人一人を温かく見守りながら、ときに励まし、ときに注意や助言をすることにより、地域の連帯感と教育力を高めていける機会を作れたらと考えています。

「地域のおじさん・おばさん運動」は、子どもたちを温かく見守り、地域の子どもたちに必要な次のようなことに取り組みます。

- ①子どもたちに積極的に気持ちが伝わるような声かけをする。
- ②子どもたちを事故や犯罪から守る。
- ③子どもたちの立場に立って対応する。
- ④人を愛する気持ち・自立心を育てあげよう努める。



瑞浪市では活動の趣旨に賛同いただいた各町民会議・市職員・社会教育委員・少年センター指導員・PTA・寿大学・市民会議理事の皆様、238名(令和3年12月末現在)が会員登録され、各地域・組織で挨拶や見守り、青少年育成活動に日常的に取り組んでいただいています。

## 「第2のふるさと 瑞浪市」

麗澤瑞浪中学・高等学校  
校長 藤田 知則

本校は、昭和35年に瑞浪の地に開校いたしました。地域の方々の温かいご支援により、令和元年度に10,000人目の卒業生を送り出し、令和2年度に創立60周年を迎えることができました。この場を借りて感謝申し上げます。

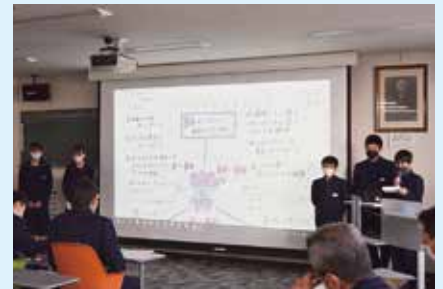
全寮制としてスタートした本校ですが、平成8年より通学生も導入し、現在は全校生徒の約半数が全国各地から集まり、地元出身の生徒たちと切磋琢磨しながら学校生活・寮生活を送っています。

写真に代表されるような地域密着の活動にも、寮生も含めて積極的に参加させていただいております。例えば、瑞浪市の課題解決を目指す探究活動、瑞浪市に提言する機会である「市長と語る会」などでは、外なる視点で瑞浪市の良さに気づき、魅力を再発見できるのが本校の強みだと感じています。地域の方々と一緒に活動するボランティア活動においては、人の温かさに触れ、心温まる充実した時間を過ごさせていただいております。

このように中高6年間、または高校3年間で瑞浪市で過ごした生徒たちは、瑞浪を「第2のふるさと」と表現します。いつでも遊びに行くことができる大好きな人たちがいる瑞浪、誰とも会わなくても居るだけでほっとすることができる瑞浪、卒業後に各自の出身地に戻ったとしても、自分を育ててくれた瑞浪市に敬意を表して「第2のふるさと」と呼んでいるのだと思います。

情報技術が著しい発展を遂げている現在、そして未来には、瑞浪の地を離れて全国各地、海外で生活していたとしても、瑞浪出身の仲間と共に、「瑞浪を盛り上げたい」「瑞浪に恩返しをしたい」との思いによって、瑞浪市にゆかりのある若者たちが地方創生の担い手になることも大いに期待されると考えております。

本校は、全国から集まる寮生のいる学校としての強みを活かしながら、引き続き、お世話になっている瑞浪からの恩恵に感謝し、恩に報いる生き方ができる生徒を育て参ります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



課題解決案を瑞浪市に提案



市長と語る会



瑞浪市主張大会で最優秀賞



MSリーダーズ啓発活動



太鼓部による成人式オープニング演奏



小里川クリーン作戦

## 「地域への貢献・地域の活性化 そして 地域からの学び」

学校法人安達学園 中京高等学校  
校長 和田 尚

昭和38年4月、縁あって本校はここ瑞浪市に開校致しました。以来60年余り、地域の皆様のご支援のお陰で、教育活動を展開し多くの卒業生を送り出すことが出来ました。余所から来た学校を受け入れていただいた上で、叱咤激励をしていただきながら、『地元の学校』として応援し続けてくださることに、改めて感謝申し上げます。

地域に根付かせていただいたことに感謝をし、地域の皆様方から学ばせていただく事柄を大切に、育てた生徒を地域へ返すことが我々の責任であり使命と感じております。その意識の下で本校は、地域連携活動・貢献活動を様々な形で進めてきましたし、今後も進めていく所存です。

創立以来継続している、朝の瑞浪駅清掃・通学路の交通整理では、利用される方からの一言が嬉しく、爽やかに一日をスタートさせられます。12月の歳末募金活動では、街頭の寒さをかき消す温かい心に触れられます。15年ほど前から始めた瑞浪バサカカーニバルへの参画は、演舞と裏方双方において、異年齢交流の意義や地域を盛り上げることの充実感を肌で感じ取ることが出来ます。演舞の中心となる保育クラス『love kids』は、各地の催しや近隣小中学校への演舞出演や指導に出向かせていただくことで、自身の取組の意義深さを考える機会となっています。さらに高校生から地域へ新しい試みを投げかけようとする、地域活性化部の活動にも諸々の成果が出ています。

地域貢献を通じて地域活性化の一翼を担えることは、自己有用感を育み、いずれ社会を担う生徒にとっての生きた教育活動になっております。感謝と同時に、今後のご指導をお願い申し上げます。



バサカニ  
全員で演舞



バサカニ  
コース演舞



バサカニ  
商店街協力



地域活性化部  
発表会



週番  
駅前清掃



歳末募金活動

## 明世学区青少年育成市民会議 「中学生と語る会」を開催

瑞浪市青少年育成市民会議総会の場で、青少年活動モデル地区の明世学区青少年育成市民会議に実践発表をしていたくことになっていましたが、残念ながら発表の機会を失ってしまいましたので、活動の一端を紹介します。

令和3年12月12日（日）に、瑞浪北中学校区のまちづくり推進協議会5地区の共同開催による「中学生と語る会」を、瑞浪北中学校で開催しました。

今回は、明世地区が担当として、今年度から新しく取り組んでいます「ホタルの育成事業」の紹介と、明世町の奥村了氏を講師に迎え「ホタルの勉強会」を行いました。

瑞浪北中学校から28名もの生徒の参加があり、全員が講義を真剣に聞き入り、ホタルの発光実験では、各グループから発光する場面を見て感動の声がかぎりました。

ホタルを通してのまちづくりを進めていく事の意味と大切さを再認識できました。（推進員：籾 秀樹）



## 1年間の活動を振り返って

岐阜県青少年育成推進指導員 三輪 武彦

瑞浪市民の皆様には、日頃より青少年育成活動にご理解とご協力を賜りありがとうございます。

令和3年度も、瑞浪市青少年育成のスローガン「みとめて ほめて はげまして」のもと、各地・各場所で、青少年育成市民会議のみなさんと活動をしてきましたが、残念ながらコロナの影響で多くの事業が中止や規模を縮小しての開催となりました。

そんな中、瑞浪市主張大会は感染対策をした上で6月13日（日）に2年ぶりに瑞浪市総合文化センターのホールに観客を入れて開催できたことはとても良かったと思います。令和2年度は学校ごとにビデオを提出してもらい、関係者だけでビデオを見て審査をしましたが、今回は人数の制限はあったものの舞台上での発表を行うことができました。小学校から7名、中学校からは3名、そして市内の高校からは2名の方が学校の代表として発表され、私は審査員の一人として聞かせていただきました。舞台上に立った発表者の表情からは緊張感が感じられましたが、自分の思いや考え方を堂々と力強く発表されました。また、司会進行や審査補助など大会運営に高校生の皆さんに積極的に協力をしていただきました。

11月には各地区で啓発グッズの配布をすることで、全国強調月間の街頭啓発活動を皆さんに知って頂きました。その時にも、青少年育成推進員の方々とともに市内3校の高校生の皆さんに協力して頂きました。

計画していた事業の多くが中止となり、思うような活動ができませんでしたが、令和4年度以降は本来の活動ができるよう願っています。

### 令和4年度 主な年間行事(予定)

5月15日(日) 第1回青少年育成市民会議総会

6月12日(日) 瑞浪市主張大会

10月1日(土) 高校生と語る会

2月4日(土) 第2回青少年育成市民会議総会